

JL Japan Lifeline

第**41**期
報告書

2020年4月1日▶2021年3月31日



...for patient comfort.

■ ごあいさつ



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年3月期は、新型コロナウイルスの影響が続く中、当社は、医療機器を取り扱う企業としての責務を果たすべく商品の安定供給に努めてまいりました。業績面においては、症例数減少による販売への影響や新商品導入を目的として行った取引先への融資に係る特別損失が発生いたしました。今回の特別損失の発生を踏まえ、社内管理体制を強化し再発防止に取り組んでまいります。

こうした中、当社は2021年2月6日に創業40周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様によるご支援の賜物であり、改めて感謝申し上げます。当社はこの節目を迎え、心臓血管領域の強化とともに、新領域の開拓に本格的に取り組み、さらなる成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **鈴木 啓介**

主要連結財務データ

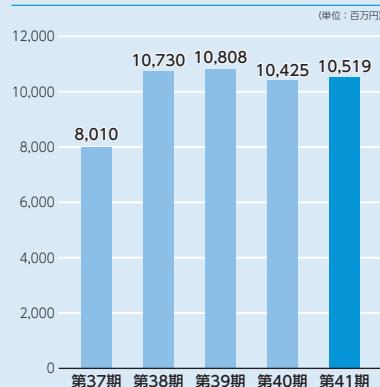
売上高



営業利益



経常利益



—2021年3月期決算の概要—

リズムデバイスにおいて、ボストン・サイエンティフィック社製CRM商品の販売が好調に推移し通期で寄与いたしました。一方、取り扱い商品全般において2020年4月の保険償還価格の引下げの影響があったほか、EP/アプリケーション及びインターベンションにおいては、新型コロナウイルスの感染拡大による症例数減少の影響を受けたことから、売上高は前期に比べ減少いたしました。

利益面においては、EP/アプリケーション等の自社製品の売上構成比が下がり、売上総利益率は前期に比べ僅かに低下したものの、営業活動等の抑制により販売関連の費用が大幅に減少したことから、営業利益は概ね前期水準を維持いたしました。しかしながら、取引先に対する製品開発の支援を目的とした貸付金等について、債権放棄及びデット・エクイティ・スワップの実行に伴う特別損失を計上したことにより、当期の親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に比べ大幅に減少いたしました。

—2022年3月期の見通し—

上期は新型コロナウイルスの影響が残り、症例数の本格的な回復は、下期以降を想定しているため、通期の売上高は前期比3.3%増を計画しております。利益面においては、症例数の回復に伴い自社製品比率の上昇を想定

していることから、売上総利益率の改善を見込んでおります。また、販売関連の費用は引き続き低い水準が想定されるものの、消化器関連の新製品等の研究開発費等が増加する見通しであり、営業利益は前期比2.5%増を見込んでおります。

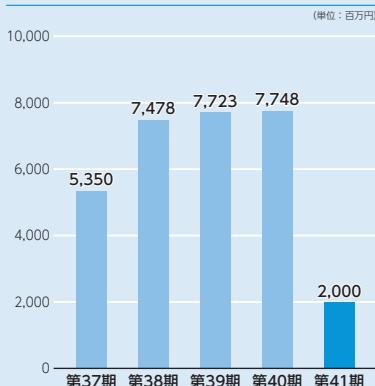
■2022年3月期連結業績予想 (2021年5月7日発表)

売上高	52,979百万円 (前期比 3.3%増)	↗
営業利益	10,625百万円 (前期比 2.5%増)	↗
経常利益	10,682百万円 (前期比 1.5%増)	↗
親会社株主に帰属する当期純利益	7,567百万円 (前期比278.3%増)	↗

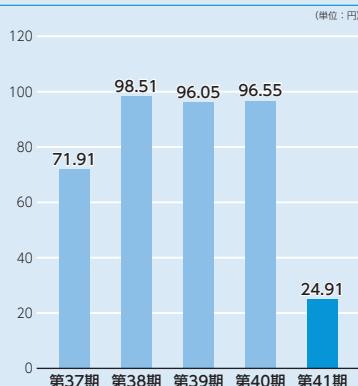
—配当予想—

当社は、創業40周年を迎え、株主の皆様にご感謝の意を表すため1株あたり20円の記念配当を実施させていただき、2021年3月期の期末配当は、1株あたり49円（普通配当29円、記念配当20円）とさせていただきます。また、2022年3月期の期末配当予想につきましては、1株あたり38円とさせていただきます。今後も、中長期の成長のための投資を行いながら、適宜株主還元の拡充に努めてまいります。

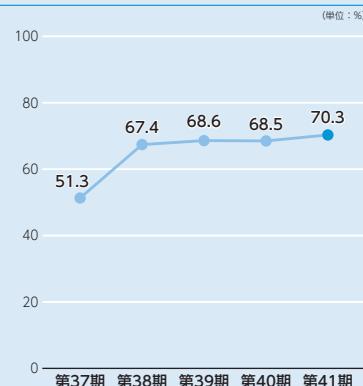
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益※



自己資本比率



※2016年12月1日付及び2018年1月1日付で、普通株式1株につき、2株の割合でそれぞれ株式分割を行っております。第37期期首にこれらの株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

品目別売上高

品目	売上高 (百万円)	売上構成比	前年同期比	主要取扱品目	代表製品	売上高 (百万円)	前年同期比	解説
リズムデバイス	13,248	25.8%	11.7%増	不整脈を治療する植込み型の医療機器を扱う ▼主要取扱品目 ・心臓ペースメーカ ・ICD (植込み型除細動器) ・S-ICD (完全皮下植込み型除細動器) ・CRT-P (両心室ペースメーカ) ・CRT-D (除細動機能付き両心室ペースメーカ)	心臓ペースメーカ	13,248	11,866	2019年9月に販売を開始したBSC社製品が通期で寄与 ●ペースメーカ関連は、ボストン・サイエンティフィック (BSC) 社製の「ACCOLADE」シリーズが、長い電池寿命により評価され、売上高が増加しました。 ●ICD関連は、BSC社製品の性能を訴求し拡販に努め、ICD及びCRT-Dの販売数量が大幅に増加し、売上高が伸長しました。
EP/アブレーション	23,863	46.5%	3.4%減	不整脈の検査や治療を行う電極カテーテルを扱う ▼主要取扱品目 ・EP (電気生理用) カテーテル ・アブレーションカテーテル ・内視鏡レーザーアブレーションカテーテル ・心腔内除細動カテーテル ・食道温モニタリングカテーテル ・高周波心房中隔穿刺針	心腔内除細動カテーテル	23,863	24,696	心房細動のアブレーション治療の症例数は前期並みに留まる ●オンリーワン製品である心腔内除細動カテーテル「BeeAT」は、2020年6月以降回復傾向にありましたが、2021年1月以降の感染再拡大の影響を受け、概ね前期水準の販売数量となりました。 ●内視鏡レーザーアブレーションカテーテル「HeartLight」は、新型コロナウイルスの影響により新規施設の開拓が遅れたこと等から、販売数量が減少しました。
外科関連	9,969	19.4%	1.9%減	血管を置き換え治療する医療機器を扱う ▼主要取扱品目 ・人工血管 ・オープンステントグラフト ・ステントグラフト ・血液浄化関連商品	オープンステントグラフト	9,969	10,166	コロナ禍において低侵襲な製品の需要が高まり堅調に推移 ●オンリーワン製品であるオープンステントグラフト「FROZENIX」は、コロナ禍において治療時間の短縮に寄与する点等が評価され、販売数量が増加しました。 ●血液浄化事業は、当社が強みを持つ心臓血管領域や消化器領域に経営資源を集中するため、2021年4月に事業譲渡を行いました。
インターベンション	4,204	8.2%	16.5%減	心筋梗塞等を治療するカテーテル等の医療機器を扱う ▼主要取扱品目 ・バルーンカテーテル ・ガイドワイヤー ・心房中隔欠損閉鎖器具 ・薬剤溶出型冠動脈ステント ・大腸ステント ・肝癌治療用ラジオ波焼灼電極針	肝癌治療用ラジオ波焼灼電極針	4,204	5,032	PCI関連商品は減収となるも消化器関連は着実に増加 ●薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro」は、症例数の減少及び保険償還価格の引下げの影響により、売上高が減少しました。 ●消化器領域の自社製品であり、唯一の国産製品である肝癌治療用ラジオ波焼灼電極針「arfa」は順調に販売数量を伸ばし、売上高が増加しました。

品目別トピックス

リズムデバイス

閉塞性睡眠時無呼吸症候群の治療用デバイスの独占販売契約を締結

閉塞性睡眠時無呼吸症候群（OSA:Obstructive Sleep Apnea）の国内初の植込み型治療デバイス「Inspire UAS」の独占販売契約をInspire Medical社（米国）と締結しました。OSAの主要な治療方法であるCPAP*治療を受ける国内患者数は約40万人と推定されます。そのうち2～3割の患者様は同治療の継続が困難となっているため、本商品はそのような患者様に新たな治療の選択肢を提供します。睡眠呼吸障害は、心疾患と深い関連性があることが指摘されており、不整脈領域の商品群とのシナジーが見込まれることから、当社の豊富な経験を生かし、本商品の市場への浸透を図っていきます。

*Continuous Positive Airway Pressure: 経鼻的持続陽圧呼吸療法



パルスジェネレータ
「Inspire UAS」

EP/アブレーション

「HeartLight X3」の医療現場への普及に取り組む

当社が現在販売している内視鏡レーザーアブレーションカテーテル「HeartLight」の次世代品である「HeartLight X3」の上市を、2022年3月期の第2四半期に予定しています。本商品は、モーターコントロールによる連続的な焼灼により、現行品の最大の課題である手技時間を大幅に短縮しています。また、治療後1年経過時点における心房細動の再発率においても優れた成績が示されています。「HeartLight X3」の普及に取り組むことにより、心房細動のアブレーション治療におけるシェア獲得を目指していきます。



内視鏡レーザーアブレーションカテーテル
「HeartLight X3」

外科関連

腹部用ステントグラフト「Alto」の薬事承認を取得

国内初のポリマーシーリング技術を採用した腹部用ステントグラフト「Alto」の薬事承認を2021年5月に取得しました。本商品は、グラフトの円周に配置された袋状のリングにポリマーを充填し血管壁に固定する独自の構造により、エンドリーク（漏血）の低減が期待されます。また、市場で最も細い外径のデリバリーシステムであることから、血管が細い症例や複雑に蛇行する症例にも安定的な留置が可能です。「Alto」の導入により、当社の大動脈治療領域における商品ラインナップの一層の充実を図り、医療現場の多様なニーズに対応できるよう努めていきます。



腹部用ステントグラフト
「Alto」

インターベンション

消化器用ステントの商品ラインナップを強化し、消化器領域を開拓

2017年に販売を開始した大腸ステントの新モデルとして、デリバリーシステム及びステントの仕様を改善した「JENTLLY NEO」の販売を開始しました。当社は、これまでに培ってきた自社技術を応用し新領域へ参入することを中長期的な課題として取り組んでおり、大腸ステントは、オープンステントグラフトで培ったステント編み込み技術を応用した消化器領域における最初の製品です。また、2022年3月期下期には、大腸ステントに加えて、国産初の胃・十二指腸用ステント「JENTLLY NEO Duodenal Stent」の上市を予定していることから、販売体制の強化を図り、消化器領域における当社のプレゼンスをさらに高めていきます。



大腸ステント
「JENTLLY NEO」

お知らせ

創業40周年を迎えて

当社は、2021年2月6日に創業40周年を迎えました。1981年に心臓ペースメーカーの専門商社としてスタートし、1999年からは自社製品開発にも着手し、以降、商社とメーカーの機能を併せ持つ企業として成長してきました。また、事業領域についても、不整脈治療から大動脈疾患治療や虚血性心疾患治療等へ拡大し、さらに消化器領域への本格参入を予定しています。今後も患者様にとって価値ある医療機器を提供できるよう取り組み、健康社会の実現に貢献できる企業を目指していきます。



監査等委員会設置会社へ移行

当社は、2021年6月25日開催の株主総会における定款変更の決議により、監査等委員である取締役が取締役会における議決権を有する監査等委員会設置会社へ移行しました。業務執行に対する監査及び監督機能を強化し、コーポレートガバナンス体制の一層の充実を図ることで経営の透明性及び客観性を高め、持続的な企業価値向上に努めていきます。

健康経営優良法人 2021（大規模法人部門）に認定

当社は、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人2021（大規模法人部門）」に認定されました。2020年にJLL健康宣言を掲げ、従業員やその家族の健康維持・増進のための取り組みを強化してきました。今後も従業員等の健康増進のための環境整備を推進し、健康経営に取り組んでいきます。



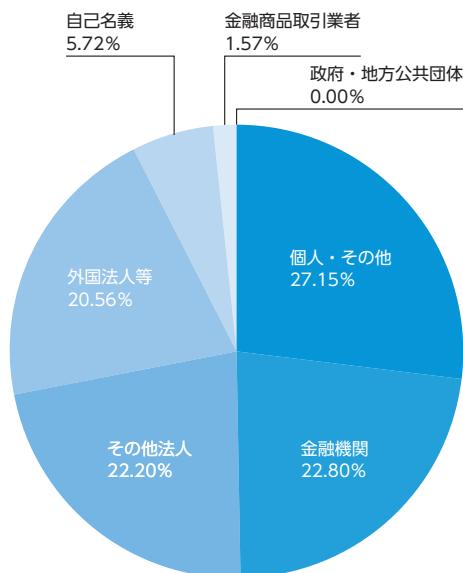
健康経営優良法人
Health and productivity

株式情報

株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	346,400,000株
発行済株式の総数	85,419,976株
株 主 数	12,154名

所有者別株式分布 (2021年3月31日現在)

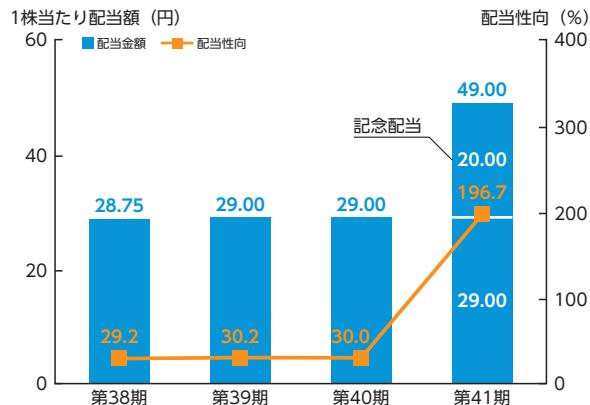


大株主 (2021年3月31日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
エムティ商会株式会社	9,860	12.24
KS商事株式会社	8,609	10.69
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	5,449	6.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,012	6.22
鈴木啓介	2,560	3.18
THE BANK OF NEW YORK 133972	1,576	1.96
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	1,111	1.38
日本ライフライン従業員持株会	1,101	1.37
株式会社日本カストディ銀行 (信託口5)	975	1.21
JP MORGAN CHASE BANK 385781	944	1.17

(注) 持株比率は、自己株式4,889千株を控除して計算しております。なお、自己株式には役員報酬BIP信託が保有する当社株式113千株及び信託型従業員持株インセンティブ・プランが保有する当社株式47千株は含めておりません。

配当実績

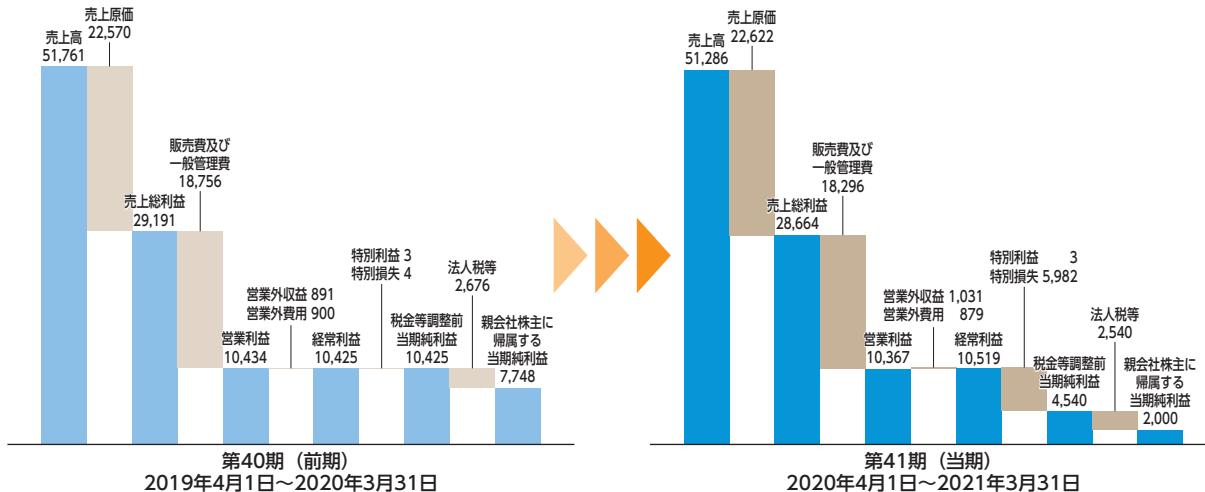


※2018年1月1日付で、普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり配当額においては、実際の配当額を記載しております。

連結財務諸表

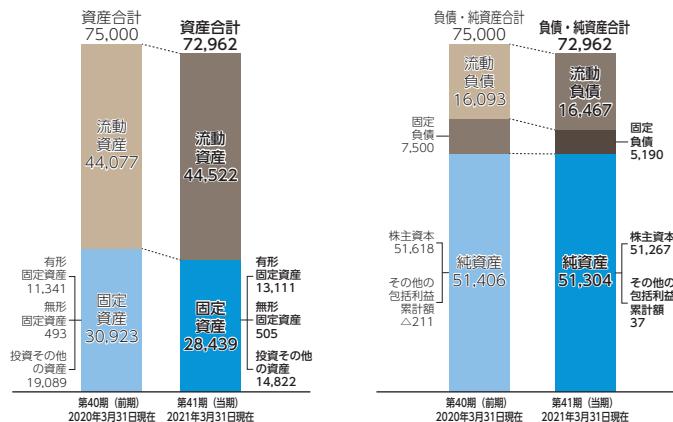
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



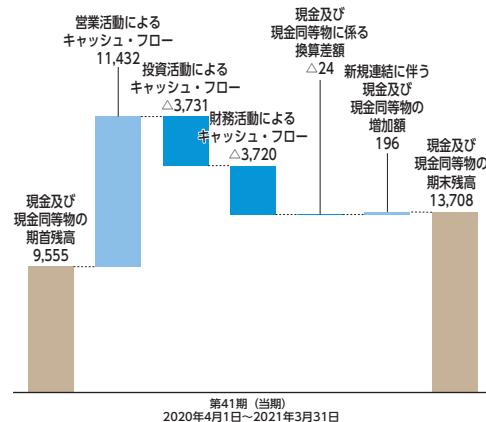
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



会社概況

会社概要 (2021年3月31日現在)

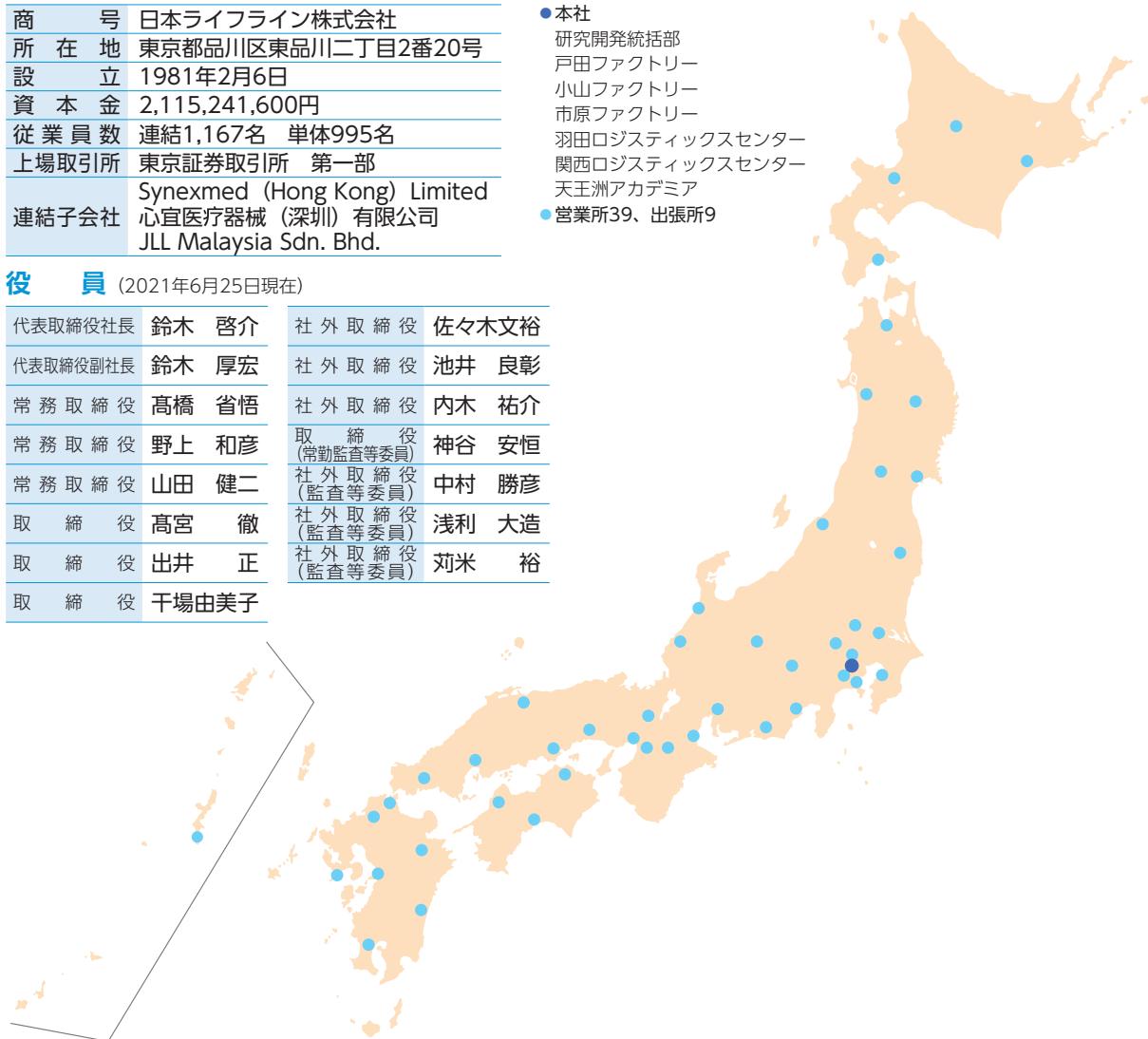
商号	日本ライフライン株式会社
所在地	東京都品川区東品川二丁目2番20号
設立	1981年2月6日
資本金	2,115,241,600円
従業員数	連結1,167名 単体995名
上場取引所	東京証券取引所 第一部
連結子会社	Synexmed (Hong Kong) Limited 心宜医療器械(深圳)有限公司 JLL Malaysia Sdn. Bhd.

役員 (2021年6月25日現在)

代表取締役社長	鈴木 啓介	社外取締役	佐々木文裕
代表取締役副社長	鈴木 厚宏	社外取締役	池井 良彰
常務取締役	高橋 省悟	社外取締役	内木 祐介
常務取締役	野上 和彦	取締役 (常勤監査等委員)	神谷 安恒
常務取締役	山田 健二	社外取締役 (監査等委員)	中村 勝彦
取締役	高宮 徹	社外取締役 (監査等委員)	浅利 大造
取締役	出井 正	社外取締役 (監査等委員)	苅米 裕
取締役	干場由美子		

事業所 (2021年4月1日現在)

- 本社
研究開発統括部
戸田ファクトリー
小山ファクトリー
市原ファクトリー
羽田ロジスティクスセンター
関西ロジスティクスセンター
天王洲アカデミア
- 営業所39、出張所9



株主メモ



決算期	3月31日
定時株主総会	6月
単元株式数	100株
定時株主総会の 基準日	3月31日
配当金 受領株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、9月30日といたします。
公告方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL https://www.jll.co.jp ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137- 8081 新東京郵便局私書箱第29号
〈お問合せ先〉	0120-232-711 (通話料無料)
〈インターネット ホームページ〉	https://www.tr.mufg.jp/daikou/

株式に関する住所変更等 のお届出及びご照会について

1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取 方法の指定・変更等

- ▶ 証券会社等の口座に株式をお持ちの株主様
口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- ▶ 特別口座に登録された株式をお持ちの株主様
上記特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行
にお問い合わせください。

2. 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店
でお支払いいたします。

本報告書の記載内容のうち、歴史的事実以外の事項につきましては、現時点で入手可能な情報に基づく当社の計画または将来予測であります。実際の業績はさまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本報告書の記載と異なる可能性がありますことにご留意ください。



最新の会社情報及びIR情報は 当社ホームページをご覧ください

当社の最新ニュース、製品案内及び財務情報等の株主・投資家の皆様向けの情報をご覧いただけます。

<https://www.jll.co.jp/investors/>



IR-eNews 投資家情報メールマガジン



IRの最新情報をお届けしております。ご登録は当社ホームページの投資家情報ページよりお願いいたします。



日本ライフライン株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番20号
電話 03-6711-5200
URL <https://www.jll.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。